

Mémoires 2022

有馬記念(GI) (第67回グランプリ)



新王者が圧巻の戴冠 イクイノックス

並み居る強豪を完封、堂々たる圧勝で新時代の王者が誕生した。

ファン投票1位は天皇賞(春)と宝塚記念の覇者タイトルホルダー。他にもエリザベス女王杯で素質開花の牝馬ジェラルディーナ、ダートから転向した異色のジャパンカップウイナー・ヴェラアズール、復活にかける前年の覇者エフフォーリアなど、多士済々のメンバーが集結した有馬記念。それらをすべて蹴散らして現役最強を宣言したのは、3歳馬イクイノックスだった。

タイトルホルダーが先導したレースは、終盤にかけて激しさを増していた。どの馬も手綱が動き始める中、イクイノックスだけが涼しい顔で馬なりのまま進出していく。直線入り口で前に並びかけてスパートすると、一瞬にして加速。そこから先は独壇場だった。

後方では同じ3歳のボルドグフーシュが2番手に上がるが、そのはるか2馬身半前で悠々とゴール。最後はクリストフ・ルメール騎手が後方を確認し、手綱を抑える余裕があったほどだった。

春は皐月賞も日本ダービーも2着と涙をのんだイクイノックス。しかし天皇賞(秋)で古馬勢を破ると、「春のクラシックではまだ大人ではありませんでしたが、秋から強くなりました」というルメール騎手の言葉通り、この有馬記念も圧勝。キャリア6戦目での優勝は史上最少記録、また父キタサンブラックは2017年の本競走を制しており、有馬記念父仔制覇は史上5例目となった。

ルメール騎手はこれが有馬記念3勝目。2005年ハーツクライ、2016年サトノダイヤモンドに続き、またしても12月25日の勝利に「みなさんメリークリスマス!」と喜んだ。ファンにとっても競馬界にとっても、まさに素敵なクリスマスプレゼントとなった有馬記念だった。

有馬記念(GI) (第67回グランプリ)

12/25 中山競馬場 2500m(芝・右)晴・良 16頭									
着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	イクイノックス	牡	3	55	C.ルメール	木村 哲也	2:32.4	①	⑧⑨⑥③
2	ボルドグフーシュ	牡	3	55	福永 祐一	宮本 博	2 1/2	⑥	⑭⑭⑮⑬
3	ジェラルディーナ	牝	4	55	C.デムーロ	齊藤 崇史	1 1/2	③	⑭⑭⑮⑬
4	イズジョーノキセキ	牝	5	55	岩田 康誠	石坂 公一	3/4	⑬	⑦⑦⑧⑥
5	エフフォーリア	牡	4	57	横山 武史	鹿戸 雄一	クビ	⑤	⑤⑤④③
6	ウインマイティ	牝	5	55	和田 竜二	五十嵐忠男	1 1/2	⑮	⑩⑩⑪⑩
7	ジャスティンパレス	牡	3	55	T.マーカンド	杉山 晴紀	クビ	⑦	③③④⑤
8	ティープوند	牡	5	57	川田 将雅	大久保龍志	1/2	⑧	③③②②
9	タイトルホルダー	牡	4	57	横山 和生	栗田 徹	3	②	①①①①
10	ヴェラアズール	牡	5	57	松山 弘平	渡辺 薫彦	クビ	④	⑪⑪⑪⑩
11	ポッケリーニ	牡	6	57	浜中 俊	池江 泰寿	2 1/2	⑭	⑤⑤⑥⑥
12	ボタジェ	牡	5	57	吉田 隼人	友道 康夫	アタマ	⑫	⑧⑦⑧⑨
13	ラストドラフト	牡	6	57	三浦 皇成	戸田 博文	1/2	⑯	⑪⑪⑧⑪
14	アリストテレス	牡	5	57	武 豊	音無 秀孝	1 3/4	⑩	⑪⑪⑪⑩
15	アカイト	牝	5	55	幸 英明	中竹 和也	1/2	⑨	⑯⑯⑮⑮
16	ブレークアップ	牡	4	57	戸崎 圭太	黒岩 陽一	7	⑪	②②②②

単勝 ⑨230円 複勝 ⑨120円 ③270円 ⑤200円 枠連(2-5) 1,150円
馬連 ③-⑨1,320円 馬単 ⑨-③1,770円 ワイド ③-⑨500円 ⑤-⑨340円 ③-⑤1,030円
3連複 ③-⑤-⑨2,520円 3連単 ⑨-③-⑤9,740円

ハロンタイム 7.0-11.3-11.7-12.1-12.5-13.1-12.7-12.4-11.8-11.9-12.2-11.4-12.3
通過タイム 700m④42.1-900m⑤54.6-1100m①1:07.7-1300m①1:20.4-1500m①1:32.8-1700m①1:44.6-1900m①1:56.5-2100m②2:08.7-2300m②2:20.1



優勝馬:イクイノックス

2019.3.23生 牡 青鹿毛
父:キタサンブラック
母:シャトーブランシュ
母の父:キングヘイロー
生産:安平・ノーザンファーム
馬主:(有)シルクレーシング